



と評判で、家族で貸し切れるひのき風呂や、沢功さん一家によるぬくもりのある接客も支持されている。上野に近く、最寄りの地下鉄



〇五〇

昭和の面影が残る日本旅館の食堂に外国人が集まり、真剣なまなざしで書道に挑む。教えているのは日本の若者たち。東京都台東区谷中の旅館「沢の屋」の光景だ。

宿泊客の9割が外国人という沢の屋。客室は和室ばかり12部屋。「安くて清潔」

外国人客でにぎわう下町旅館 マイネームを漢字置換



学生に教わりながら、自分の名前を漢字で書くジュズビエフ・フリユートシュさん
＝いずれも東京都台東区の沢の屋

根津駅は銀座や原宿へ行くのに便利だ。

この日の夜は、東洋学園大現代経営学部の3年生が書道体験イベントを開いた。「あなたの名前を漢字で書いてみよう」と英語で書かれたチラシが宿泊客を誘う。

参加者は学生に自分の名前を告げ、漢字を考えてもらう。例えばブルノさんは「武留乃」、フランソワーズさんは「富蘭沢」だ。

フランスから来たマーケティングのジュズビエフ・フリユートシュさんは「寿」

~~~~~  
ごさを敷いて、外国人宿泊客向けに書道体験イベントが開かれた食堂

約30年前、沢の屋に近い東京芸大に留学していたというが、「自分の名前を漢字で書いたのは初めて」と大喜び。「漢字はきれいでミステリアスだから興味があります」と笑顔で語った。

「約30年前、沢の屋に近い東京芸大に留学していたというが、「自分の名前を漢字で書いたのは初めて」と大喜び。「漢字はきれいでミステリアスだから興味があります」と笑顔で語った。

約30年前、沢の屋に近い東京芸大に留学していたというが、「自分の名前を漢字で書いたのは初めて」と大喜び。「漢字はきれいでミステリアスだから興味があります」と笑顔で語った。

約30年前、沢の屋に近い東京芸大に留学していたというが、「自分の名前を漢字で書いたのは初めて」と大喜び。「漢字はきれいでミステリアスだから興味があります」と笑顔で語った。

約30年前、沢の屋に近い東京芸大に留学していたというが、「自分の名前を漢字で書いたのは初めて」と大喜び。「漢字はきれいでミステリアスだから興味があります」と笑顔で語った。

約30年前、沢の屋に近い東京芸大に留学していたというが、「自分の名前を漢字で書いたのは初めて」と大喜び。「漢字はきれいでミステリアスだから興味があります」と笑顔で語った。

約30年前、沢の屋に近い東京芸大に留学していたというが、「自分の名前を漢字で書いたのは初めて」と大喜び。「漢字はきれいでミステリアスだから興味があります」と笑顔で語った。

約30年前、沢の屋に近い東京芸大に留学していたというが、「自分の名前を漢字で書いたのは初めて」と大喜び。「漢字はきれいでミステリアスだから興味があります」と笑顔で語った。